

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

公表:令和5年3月20日

事業所名:三鷹市子ども発達支援センター

対象者数:17人、回答数:17人、回答率:100%

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	17				
	② 職員の配置数は適切であるか。	15	2		・来年のクラス数のことを考えると、今よりも1～2人多くても良いと思う。 ・法令に基づいている。ケースバイケースで多少の余裕があると細かな家庭支援等の対応にもっと力が入れられる。 ・現人数(子ども)に対しては適切だと思うが、個別対応が必要な子が出た場合や急なサポート要員は常に1人はいて欲しいと思う。	東京都の配置基準を満たしているが、業務内容を整理し、より細やかな対応できるように検討していく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	16	1		・トイレに行くという目的意識があるのは理解しているが、トイレがせめて2箇所使えないか。 ・都度環境設定を見直しながら、療育を行っている。環境設定に対して、もっとアドバイス等もらえる場や機会があると良い。	ミーティングや研修等を実施するなど、環境設定について創意工夫できるよう検討していく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	17				
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	4		・取り組み方に個人差がある。全員ができていないため、子どもにとって不公平。 ・広く職員が参画することは良いが、子や職員の意見をポジティブにやりとりしたい。 ・改善のPDCAサイクルには、あまり関わっていないのではと思われる。	広く職員が参画できるようミーティング等で周知していく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	16	1		・もっと早く対応すべきと考える。また、保護者が納得していないことが多い。 ・つなげてはいるが、中々満足度の向上にまではなっていない。	保護者等の意向等を迅速に把握し、業務改善につなげていけるよう努める。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	16	1		・実施している。評価結果を三鷹市ホームページに掲載している。	保護者だけではなく、職員にも公表について周知する。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。					実施していない。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	11	6		・機会是与えられているが、専門性の向上に役立つか疑問。 ・少ない。 ・今年度に限っては、機会を十分に確保できていなかった。 ・後半は少なく感じた。	職員が療育の現場で活用できるような実践的研修の実施など職員の資質の向上が図れるように、研修の内容等を検討していく。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	1		・もっと正規職員や管理職のチェックを丁寧にしたい。 ・アセスメント能力の向上等、今後の課題と思われる。	アセスメントツールの標準化の検討
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	6	8	3	・ツールを使い切れていない。個々に当てはめ具体的な療育につなげにくかった。	アセスメントツールの標準化の検討
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	17				
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	17				
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	2	1	・担当のみで行っている。せめて目安くらいは示して欲しい。	各職員、グループごとで行っているが、個人の負担が増えないよう注意していく。

適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	1		・担当に全て任されているため偏りや適正性が疑わしい。また、毎日繰り返すことで安心して生活できることは理解しているが、就学前に経験すべきことはもっと多様だと考える。 ・工夫したい気持ちはあるがアイデアにまつまるときがある。 ・日課以外の活動については工夫している。 ・ケースによっては、固定化をしてわかりやすい設定にすることもある。 ・個人で調べるなどして楽しめるプログラムを考えてきたが、アイデアが少なく、経験のある職員にも聞いてみたかった。	活動プログラムの創意工夫について、全体で共有できる機会を持つ。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか。	16	1		・基本となる集団活動の中で、必要に応じて個別的な関わり、対応を取り入れ、計画に反映している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	17			・全体でのミーティングをもう少し簡潔に済ませて時間が欲しい。	ミーティングの内容、時間について検討する。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17			・休憩を取らなければならない。 ・終わるミーティングでの情報共有は大切であるが、長すぎると療育準備に取りかかれないことがあるため、普段は必要事項のみにしたり、終わりの目安があるとありがたいと感じた。	ミーティングの内容、時間について検討する。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	16	1			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	14	1	2	・開催されていても担当に伝わってこない。 ・把握できていない。 ・わからない。	事業所内の相談支援担当者と密に連携を取っているが、職員全体に内容を周知していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	16	1			
	23	(医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。					
	24	(医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	1		・共有、支援は不十分だと考える。 ・行っている部分もあるが、十分ではないと思う。 ・行っているとは思いますが、質の向上に努めていく必要があると思われる。	実施している。職員全体に周知する機会を設ける。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	1		・支援学級、支援学校についての知識があまりない職員もいる。 ・行っている部分もあるが、十分ではないと思う。	さらなる相互理解の機会を持つ。情報共有等の方法について、検討する。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	11	5	1	・わからない。	他の児童発達支援センター等との連携を深め、内容を職員全体に共有する。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	2	15		・コロナ禍で仕方のない面もあるが、機会をつくって欲しい。 ・コロナが落ち着いたら再開できるとよい。(保護者のニーズもあるので) ・コロナ禍ということもあるが・・・ ・コロナ禍のため、交流ができていない。	新型コロナウイルス感染症の影響で、開催できていなかった。来年度以降、社会情勢を鑑みながら、保育所等との交流を再開していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	3	5	・把握していない。 ・わからない。	参加している。職員全体に周知する機会を設ける。
	30	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17			・行っているが、足りていない。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	7	8	2	・機会はあるが、保護者は内容に満足していない。実際、変化もあまりない。 ・プログラムとしては確立していない。 ・把握していない。 ・わからない。 ・行っているが、足りていない。 ・対応力の向上を図るための研修。園だよりでのお伝え、参観時に説明等をしているが、プログラム化したものは現状ない。	現行の家族支援プログラムの支援内容について、保護者が満足できるよう、来年度以降、再検討する。

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17				
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16		1		
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な支援と助言を行っているか。	16		1	・行っているが、保護者が満足いく支援、助言にまでつながっているかわからない。より充実を。	児童及び保護者の満足につながっていると職員全体が自信を持つことができるように、支援の在り方について検討し、情報共有していく。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	14	2	1	・機会は作っているが、保護者間のつながりが強まったかといえば、あまり効果がみられない。 ・もっと保護者同士の連携を支援できるとよいと思う。 ・保護者同士の連携の支援が行えていないのではないかな？	保護者の満足につながるように、保護者同士の連携の在り方について、検討していく。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16		1	・基本的には迅速にしていると思うが、そうでない場合もある。 ・迅速に対応にあたれるよう心掛けた。	不測の事態であっても、事業所内で迅速な対応できるように体制を整えていく。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	17				
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	17				
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	1		・毎日の保護者とのコミュニケーションの取り方に工夫が必要。	関わり方のよい事例悪かった事例などについて、研修等を通して、情報共有していく。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	9	2	・コロナ禍のため、実施できていない。 ・地域住民を招待する行事等はない。	新型コロナウイルス感染症の影響で、地域住民等との交流が行われていなかった。来年度以降は、社会情勢を鑑み、実施に向けて検討していく。
非常時等の対応	④⑪	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	17			・今年度は様々なケースを想定した訓練を行った。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	17				
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	16	1		・予防接種を受けたことを事後報告（後日）されることがあった。ルールとして保護者に共有して欲しい。	事前に連絡をもらうよう保護者等に周知する。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17				
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	8	6	3	・書式はあるようだが、今年度はあまり活用されていないように思う。 ・口頭での共有はあるが、事例集等は見たことがない。 ・今年度はなし。あるのか分からない。 ・実際にケガがあった時は共有しているが、ヒヤリハットは作成していない。	職員間でヒヤリハットについて情報共有し、事故を未然に防ぐための方法等について検討していく。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16		1		
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	2	1	・今年度、該当なし。 ・身体拘束の対応はないため、実際に起きた際の対応は分らない。	身体拘束は行っていない。 職員に対して身体拘束に関する研修を実施した。今後も研修等を通し、職員間で情報共有する。